



# 一般質問

## 山賀清一議員

行政課題について  
質問 市道の損傷がひどく、危険箇所が多い。早急に舗装補修を全体的に実施すべきであるが、その対応策はどうか。  
答弁 舗装路面の老朽化等、磨耗損傷しており、計画的に舗装の打ち換えを行い、安全円滑な通行の確保を図っていく。そのほかに細かな数多くの道路の部分的補修工事を緊急的な修繕での道路維持管理による危険防止と安全第一に対応させていく。

質問 河川堤防等のノリ面の維持管理について、防災上からも、又病害虫の発生防止からしても雑草木の繁茂がひどく、周辺住民は迷惑している状態。河川法は当然、当該団体等で管理責任の義務があるとなつている。市は徹底した業務管理態勢をすべきであるが見解を伺う。  
答弁 洪水浸水の未然防止の為に地域住民の環境保全にも努めている。

質問 固定資産税は、時代変化に応じて評価替えの見直しと減免減税で市民の軽減を図り、公平な評価と細分化地を徹底すべきであるが、市民に納得出来る賦課は可能か。  
答弁 固定資産税は基幹税として重要な役割をなしている。市独自の見直しは現時点では無理と考える。3年毎の評価替えでの作業で今後は十分に配慮しご理解をお願いしたい。

## 高橋幸信議員

福祉の道の駅関連について  
質問 事業全般の中止については理解が得られていない状況とのことである。市長は理解を得る努力が足りないと思うが、市長の見解は。  
答弁 説明不足と思つているので、今議会が終わつたら地権者にお会いしたいと考えている。

質問 再構築すると公言した「交流促進エリア」としての活用方法検討の進捗状況は。また、新年度に入つたら立ち上げるとした検討委員会はどうか。  
答弁 事業のリセットが先決と考え、交流促進エリアとしての活用方法の検討や検討委員会の立ち上げ作業についてはまだ進めていないし、職員にも指示はしていない。

質問 リセットが先決と言うのが代替案がなければ無理である。具体的な話、ビジョンは持つていないか。  
答弁 説明不足と思つているので、今議会が終わつたら地権者にお会いしたいと考えている。

質問 再構築すると公言した「交流促進エリア」としての活用方法検討の進捗状況は。また、新年度に入つたら立ち上げるとした検討委員会はどうか。  
答弁 事業のリセットが先決と考え、交流促進エリアとしての活用方法の検討や検討委員会の立ち上げ作業についてはまだ進めていないし、職員にも指示はしていない。

## 石川恒夫議員

水原郷病院について  
一 市長就任一年の検証  
質問 市長の公約は、公設公営であり、医師の増員確保による救急医療の早期再開であった。民間化含め一連の経緯と現状についてどう説明責任を果たしたのか伺う。  
答弁 病院経営改革審議会や各種委員会報告等一連の流れの中で、前市長が方向付けしたものであり、本市にとって最良のもの。今後市民説明会等で説明していきたい。

質問 12月議会一般質問で提示した優良事例等をどう調査し、経営改善の参考としたか伺う。  
答弁 提示いただいた優良事例の調査はしていない。院内に「企画提案チーム会議」を設置したので、今後生かしていく。

質問 提示いただいた優良事例の調査はしていない。院内に「企画提案チーム会議」を設置したので、今後生かしていく。

## 雪 正文議員

阿賀野市地域活性化対策  
平成20・21年度の地域活性化各臨時交付金関係について  
質問 市長は今の阿賀野市の地域経済の状況や市民の皆様の暮らしの現状についてどのような認識をお持ちなのか、そして、阿賀野市活性化のためにどのような対策が必要で、具体的にどのような取り組みを考えておられるのか伺う。  
答弁 本市への今回の交付限度額は4億9,890万円と試算されており、経済危機対策により追加される公共事業等に速やかに対応するとともに、地方単独事業の事業量の確保に努めるなど、地方経済の状況に応じて、積極的かつ弾力的に行うこととしている。

質問 昨年年度末の特別交付税が多かったことなどもあり、財政調整基金についても一定の積立額が確保できたところであり「今年度は、

## 清水友行議員

河川整備について  
質問 安野川の整備が進む一方、中小河川整備が遅れている駒林川、塚田川、大通川など国、県への要望等、早急な整備計画を地域住民に示すべきと思うが現状と今後の整備手法を伺う。  
答弁 本市に関係する河川整備については、県でまとめた「阿賀野川水系新井郷川圏域河川整備計画」に基づいて行われている。駒林川は、平成24年度までに国道49号の山口橋、市道安野橋が完成予定である。塚田川については平成21年度新規採択で県農地部予算で行う県管かんがい排水事業となっている。大通川は平成21年度において新潟、新発田地域整備部が各管理区間の測量実施を予定しており平成22年度で計画を策定し、新規採択に向けて作業を進める予定でありこれ以外の河川について県は現在整備計画はないとのことであり、市では地域の要望を受け実

現に向け国、県への要望活動等行っていく。

現に向け国、県への要望活動等行っていく。

現に向け国、県への要望活動等行っていく。

現に向け国、県への要望活動等行っていく。

現に向け国、県への要望活動等行っていく。

現に向け国、県への要望活動等行っていく。

現に向け国、県への要望活動等行っていく。

現に向け国、県への要望活動等行っていく。

現に向け国、県への要望活動等行っていく。

## 山賀清一議員

建設業者に委託するほか、地元農家組合団体等に一層の協力を願いながら管理に努める。

質問 市道両サイドの盛土雑草の撤去作業を早急に実施し交通安全上の道路中員確保に全力を上げるべきである。その対策はどうか。  
答弁 早急に現地確認し、撤去を実施したい。今後の維持管理作業の効率化を図るため雇用創出事業により2名の直接雇用で市民目線による危険箇所の緊急に修繕を要する所の調査を行い、安全確保に努める。

質問 固定資産税は、時代変化に応じて評価替えの見直しと減免減税で市民の軽減を図り、公平な評価と細分化地を徹底すべきであるが、市民に納得出来る賦課は可能か。  
答弁 固定資産税は基幹税として重要な役割をなしている。市独自の見直しは現時点では無理と考える。3年毎の評価替えでの作業で今後は十分に配慮しご理解をお願いしたい。

質問 固定資産税は、時代変化に応じて評価替えの見直しと減免減税で市民の軽減を図り、公平な評価と細分化地を徹底すべきであるが、市民に納得出来る賦課は可能か。  
答弁 固定資産税は基幹税として重要な役割をなしている。市独自の見直しは現時点では無理と考える。3年毎の評価替えでの作業で今後は十分に配慮しご理解をお願いしたい。